

第1章 “美ら島沖縄”の風景（沖縄の景観特性）

1. 沖縄の景観特性

本県は、亜熱帯海洋性気候の下、年間を通して温暖で、貴重な動植物が生息・生育する緑豊かな島しょ県です。その一方、台風常襲地帯として厳しい自然と対峙してきました。また、沖縄の歴史及び文化的特性は、我が国の中でも独特のものがああります。かつて琉球王国として、中国、東南アジア諸国等との交易・交流を通じて形成された琉球文化に、戦後米国からの影響等も加わり、国際色豊かな文化、生活様式を育んできました。

沖縄の風景の特性は、このような豊かで時には厳しい自然環境と、固有の歴史伝統に特徴づけられる地域特性を基本としながら、時間をかけて自然と人間の活動が相まって作りあげてきた、地域における生活の姿そのものにあります。

本計画では、このような沖縄の風景を「自然・歴史」、「地域の特性」、「人とくらし」と類型化し、また、リゾートや基地跡地利用等の大規模開発、道路・河川・海岸等の公共施設や空港・港湾等の拠点施設などによる新たに創造された沖縄の風景を「公共空間等」として類型化しました。

また、景観を構成する主要な要素や景観の広がりや共通認識できる広域の圏域として本島北部、本島中南部、本島周辺離島、宮古、八重山の5つの圏域を設定し、主要な景観資源を整理しました。

しかしながら、広大な海域に散在する島々ごとに特有の風土や文化があり個性ある地域圏を育てていることから、具体的な風景の姿は一括りに捉えられるものではなく、それぞれが地域の自然や歴史・文化、時代の変遷を背景とした多面性を持つものとして理解する必要があります。



自然・歴史

森林・緑の稜線



本県は、亜熱帯海洋性気候の下、年間を通して温暖で、貴重な動植物が生息・生育する緑豊かな島しょ県です。特に沖縄本島北部や八重山の島々、南北大東島などでは、他県にはないめずらしい種類の植物も数多く見ることができます。「生物の宝庫」ともいわれる沖縄の森や緑の稜線は、かけがえのない大切なものですが、こわれやすいものでもあります。近年は、森林や緑地の持つ水源涵養や安全・防災などの役割も広く知られてきており、また、その豊かな自然を活かし、エコツーリズムの発信地としても注目を浴びています。

自然海岸



白い砂浜とエメラルドグリーンに輝く沖縄の自然海岸は、大切な財産です。世界に誇れる美しい海には数百種のサンゴがすみ、色あざやかな熱帯魚が群れをなして泳いでいます。周辺海域を黒潮が北上し、サンゴ礁に囲まれた海岸線には白い砂浜が広がり、青い空と相まって世界有数の海岸景観を誇っています。この自然的特性が、本県の観光・リゾートを支える最大の魅力となっています。また、美しい海は、特色ある農林水産業の振興や熱帯・亜熱帯及び海洋性に関連する学術研究の場としての活用など、多様な可能性を有しています。

世界遺産
・眺望



島しょ沖縄県にとって眺望景観は大切な資源です。観光地等の美しい眺望景観に加えて歴史的な意味合いや精神文化に関わる大切な眺望景観もあります。

平成12年12月に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録された主要グスク等は、世界遺産としての価値はもとより、沖縄の精神文化や歴史的資源の関係性、物語性を体感する上でも大切な景観資源及び眺望点といえます。

歴史的文化的な観点から重要となるのは、例えば斎場御嶽の三庫理（サングーイ）から久高島への眺望や、首里城から慶良間諸島及び久高島への眺望、勝連グスクから金武湾・中城湾への眺望、今帰仁グスクから国頭村安須森、伊平屋島・伊是名島への眺望、浦添グスクから久高島への眺望、識名園勸耕台から南部方面への眺望などです。また、かつて烽火（ほうか）の制によって首里城までの連絡通信を行った烽火台間の眺望も大切な景観資源となります。このことから、各地に存在するグスクや烽火台跡などは優れた眺望点といえます。

地域の特性

伝統的集落
・まちなみ

自然の恵みに感謝し自然の厳しさを受け入れ、自然と共に生きてきた昔ながらの沖縄の集落景観が今なお各地に姿を残しています。赤瓦の屋根も珊瑚の石垣も屋敷を囲う福木も自然と共に生きてきた先人達の知恵の結晶であり、自然と人々が作りだした文化がそこに感じられます。白砂の道と赤瓦の美しい町並みを残す竹富島集落が1987年に、道路よりも低く掘り下げた屋敷が特徴の渡名喜島集落が2000年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。首里の城下町である首里金城町は、石畳道から左右に路地が続き赤瓦の家や御嶽、樋川などが数多く点在するなど古の姿をいまに伝えています。ヤチムン（焼物）の郷・壺屋は、石垣のスージグァー（路地）や御嶽・拝所が残り、陶工たちの生活を垣間見ることができます。

その他、伊是名島や波照間島などにも伝統的な集落景観が継承されています。また、本部町備瀬集落や今帰仁村今泊集落の福木並木は見応えがあり、いつまでも残しておきたい貴重な財産です。

市街地



那覇市の中心市街地をはじめ、沖縄市等においては、戦後、自然発生的に市街地が形成されたため、都市基盤が未整備のまま過密現象が生じ都市機能の低下がみられます。一方、郊外への大型店舗の立地等に伴い、中心市街地の空洞化など商業・業務の集積地としての機能が弱まりつつあります。このため、広域的な視点に立った都市機能の再編・再整備が図られつつあります。

新市街地においては、土地区画整理事業等により道路、公園、宅地等を一体的に整備し、地域商業拠点としての機能を併せ持つ良好な住宅市街地の形成が図られてきました。今後は、コンパクトシティの観点からハード、ソフト施策の連携による過度の自動車依存の改善、電線類地中化、バリアフリーの推進等による歩行者空間の整備など良好な住環境の創出と沖縄らしい個性ある街並み景観を形成していくことが求められています。

農村風景



サトウキビ畑や熱帯果樹畑などが広がる農地・緑地の景観は、沖縄らしさを強く感じさせる農村風景です。これらの景観は、そこに暮らす人々が自然の風土と共存しつつ長い年月をかけて育ててきた営みの姿であり、文化的風土景観として地域の個性を良くあらわしています。今後とも、農地・緑地が有する地域の個性や水源涵養、防災、環境形成等の多面的な機能を生かした風景づくりを進める必要があります。

人とくらし

生活景



まちの賑わいや御嶽などのその土地の風土を感じさせるものも、沖縄らしい生活の風景です。御嶽は、現在も地域の祭事行事の中心としての象徴的空間となっており、井戸、湧水源なども地域住民の心のよりどころとなっています。農村集落などでは、住民はお互いに応分の負担を持ち合って地域の運営をなし、集落防護林は、集落の水源を涵養しつつ、集落全体の居住環境を向上させる機能を有していました。台風による影響が大きいため、鉄筋コンクリート住宅が多く普及しましたが、これも沖縄独特の風景の一つです。

亜熱帯の風土に育つ草花は、ハイビスカス、デイゴ、ブーゲンビリアなど、彩度の高い原色に近い花など、鮮烈な色彩にあふれています。季節のうつろいを感じさせる樹木や緑、さとうきび畑の匂いや海に沈む夕日など、季節や時間によって風景は変化を見せ、五感に触れてきます。今後とも子どもから高齢者や障害者を問わず、誰もが心身ともに健康になれる優しい風景づくりを進める必要があります。

夜景



沖縄の夜は長く、都市では街路灯やビルの照明などが明るく、経済活力を感じる夜の風景が見られます。一方、農村では電照菊の照明や、離島集落での月明かりや星明かりに照らされる白砂の道など、美しく幻想的な風景が今も生きています。沖縄の魅力をさらに高めるために、地域の魅力を生かすライトアップや逆に人工照明を抑制することなどにより、沖縄らしい魅力的な夜の風景をつくりだすことも重要です。

伝統・芸能
・まつり等



伝統的な行事、芸能、まつりなども、沖縄らしさを感じさせる風景です。エイサーやハーリーなど数多く残る沖縄の伝統行事、まつりは、生活と密着した風物詩として、沖縄らしさを彩る風景となっています。また、各地で開催されるマラソンやスポーツイベント、プロ野球のキャンプなども新しい沖縄の風景を多彩につくりだしています。

歌や三線（さんしん）は生活の一部であり、祝いのときに大勢の人と喜びを分かち合いながら、歌や三線を奏でます。また、米軍統治時代の影響を受けたオキナワンロックをはじめ、新しい音楽が次々と生み出され発信されています。そのほか、農業・漁業等のなりわいの風景がありますが、那覇市のマチグワー（市場）は、今でも陽気な雰囲気を感じられ、独特の賑わいがあります。紅型（びんがた）に代表される鮮やかな色彩の文様は日本、中国、南方系の影響を受けながら成立されたものであり、沖縄独自の文様となっています。

このような沖縄固有の伝統・文化・芸能の風景が沖縄らしさをより一層魅力的なものにしています。

（参考）「生活景」の定義

「生活の営みが色濃く滲みでた景観。特筆されるような権力者、専門家、知識人ではなく、無名の生活者、職人や工匠たちの社会的な営みによって醸成された自主的な生活環境のながめ。」

（後藤春彦 早稲田大学創造理工学部教授）

公共空間等

大規模開発



本土復帰後、沖縄振興開発計画に基づき各種事業が実施される中で、国際的な海洋性リゾート地の形成や国民の総合的な健康保養の場の形成、コンベンション拠点の形成など、多様なニーズに対応した質の高い観光・リゾート地が形成されつつあります。また、世界最高水準の自然科学系の大学院大学等の形成や、健康食品産業、情報通信関連産業、環境関連産業など地域特性や優位性を生かした産業等の新規事業の創出などに向けた取り組みが進められています。米軍施設・区域については、県民の良好な生活環境の確保等、社会経済の面で大きな影響を及ぼし県土利用上の制約となっていることから、返還が予定されている駐留軍用地の跡地利用計画の策定に向けて取り組んでいます。

道路・河川
・海岸

本土復帰後、沖縄振興開発計画に基づき各種事業が実施される中で、人、物、情報の交流を活発化し観光等各種産業の振興に資するよう、那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路等、高規格道路や沖縄都市モノレールの延長整備を推進しつつあります。また、高潮や津波、波浪等による自然災害や海岸侵食から県民の生命や財産を守るため、景観や生態系など自然環境に配慮した海岸保全、河川整備に努めています。特に、都市河川やウォーターフロント等の水辺空間は多様な動植物が生息・生育する貴重な場であるとともに、都市住民に安らぎと潤いを与える貴重な空間であることから、多自然型川づくりやエコ・コースト形成等を通じて自然環境との調和に努めています。これらの社会基盤は沖縄の景観をつくる基盤としても大切です。

拠点施設



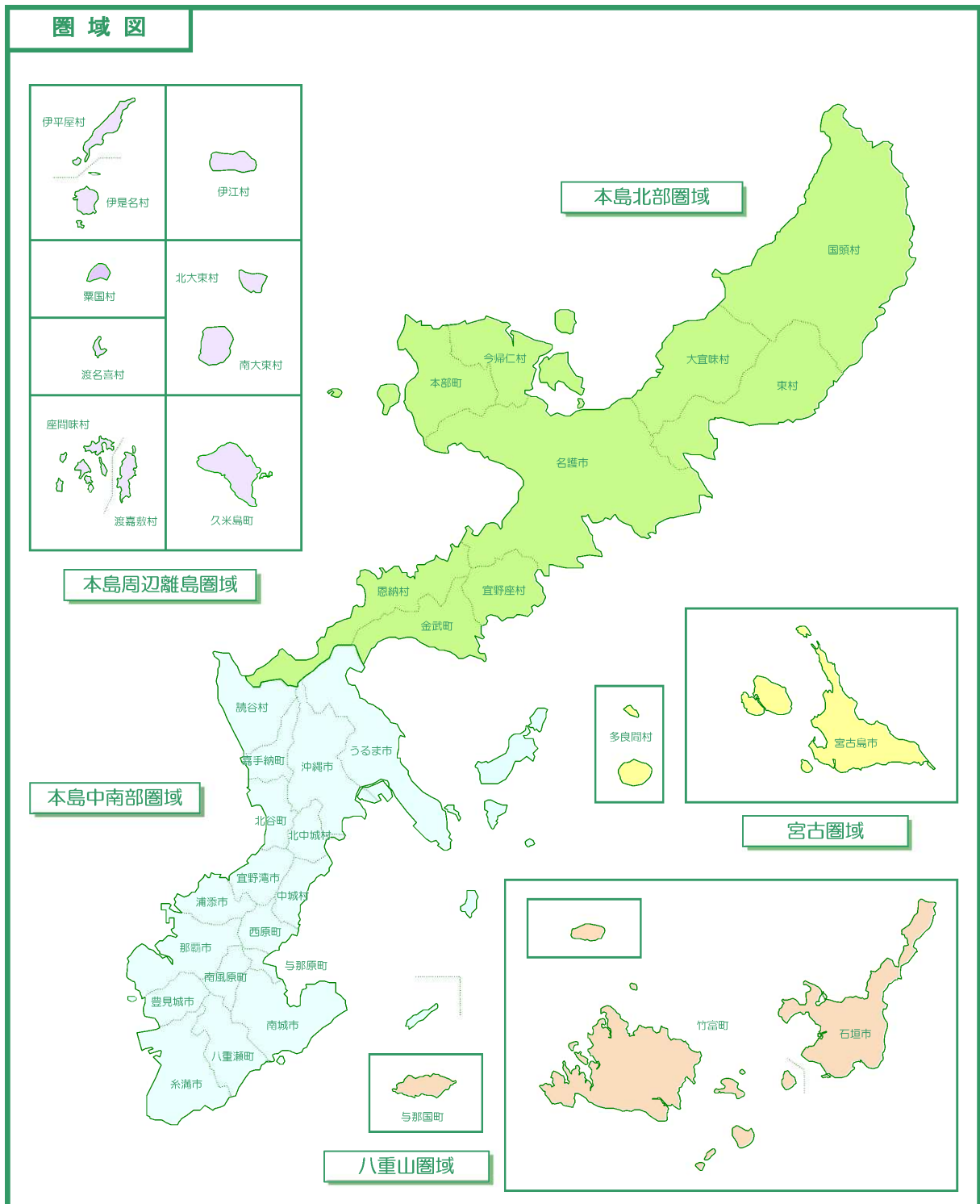
沖縄振興開発計画に基づき各種事業が実施される中で、アジア・太平洋地域の交流拠点形成に向け、国際水準の那覇空港、那覇港湾等の整備を進めています。また、離島の生活向上や産業振興などに資する新石垣空港、与那国空港等、離島空港の整備を図るとともに、それぞれの圏域の拠点としての平良港、石垣港の整備を進めています。

一方、レクリエーション需要を満たし、災害時の避難場所ともなる公園・緑地の整備を推進しており、我が国唯一の熱帯・亜熱帯公園である国営沖縄記念公園海洋博覧会地区及び琉球の歴史・文化を伝える同首里城地区とその周辺地域の整備充実を図っています。さらに、県立博物館美術館の整備等、歴史・文化などを生かした観光・リゾート産業の振興や県民の多様なニーズに対応した拠点施設を整備しています。これらの拠点施設は、沖縄の景観の印象に大きな影響を与えるものです。

2. 沖縄の景観資源（圏域別景観資源）

5つの圏域の設定

本県を各々同様の位置特性や立地特性、自然特性、土地利用特性、歴史文化特性、社会経済特性などを有する以下の5つの圏域に区分しました。これらは景観を構成する主要な要素や景観の広がりや共通認識できる広域の圏域です。さらに、沖縄振興計画や都市計画など、本県の上位・関係計画の地区区分とも概ね整合がとれていることから、より良い景観形成に向けた具体の施策の展開に際しても、効果的な連携が図れるものと考えられます。



(1) 本島北部圏域（9市町村）

<p>＜やんばる3村域＞ 国頭村・東村・大宜味村 ＜名護域＞ 名護市 ＜本部半島域＞ 今帰仁村・本部町 ＜恩納域＞ 恩納村 ＜宜野座・金武域＞ 宜野座村・金武町</p>
--

恩納村、金武町以北の市町村からなります。貴重な動植物が棲息するやんばるの森と沖縄海岸国定公園に指定されています西海岸、本部半島の雄大なカルスト地形を有するなど、沖縄本島における自然の宝庫となっています。また、世界遺産今帰仁城跡とその周辺に伝統的集落が位置し、優れた眺望と福木の抱護林が美しい集落景観を構成しています。北部地域の中心市街地として名護市街地が名護湾に面して形成されており、恩納村の西海岸はビーチリゾートとしての立地条件が良く、リゾート施設の集積が進行しています。一方、国頭村から金武町にかけての東海岸は、入り組んだ変化のある海岸線が形成されており、金武湾の雄大なパノラマ景観が開けるとともに広大な米軍施設も立地しています。

主要資源

中心景*	やんばるの森・海への眺望、世界遺産今帰仁城跡一帯、恩納海岸の眺め、金武湾のパノラマ など
自然	<p>＜やんばる3村域＞ 与那覇岳等の山地とイタジイの自然林／石灰岩山塊／希少生物相／河川溪流とダム湖／辺戸岬一帯／比地大滝／塩屋湾湾入 など</p> <p>＜本部半島域＞ サンゴ礁と島々・内海・水道の海景／ランドマーク伊江島タッチウの夕景／特徴的な中生代石灰岩のカルスト山塊／新緑紅葉のある落葉性樹林／八重岳のカンヒザクラ／蝶の生息・飛来地 など</p> <p>＜名護域＞ 名護岳・多野岳・嘉津宇岳の山地と森林域／羽地ダム・大浦川・轟の滝／羽地内海 など</p> <p>＜恩納域＞ サンゴ礁とイノー及び岬と湾入海浜／万座毛石灰岩台地や真栄田岬と海蝕崖／恩納河口・大田後原／恩納岳・名嘉真岳 など</p> <p>＜宜野座・金武域＞ 漢那ダム／北部と中南部の両方の植物相が見られる森林、億首川マングローブ林／金武湾のパノラマ景観（湾・半島・島々・海中道路）など</p>

<p>歴 史 伝 統 文 化</p>	<p>〈やんばる3 村域〉 開闢御嶽聖地安須森／北端のグスク跡謝名城／安田・塩屋などの民俗行事（ウンガミなど）／喜如嘉や奥間・安田・安波・汀間など緑濃い伝統的集落／喜如嘉の芭蕉畑や工房／奥に代表される集落共同店／集落行事 など</p> <p>〈本部半島域〉 世界遺産今帰仁城跡・クボウ御嶽一帯／民話の島古宇利島／備瀬や今泊や旧運天など緑濃い旧集落／御嶽・拝所や神アシャギ／豊年祭など盛んな集落行事／馬場跡や松並木／本部の藍畑と工房／湧水地／宿道跡と今帰仁上り など</p> <p>〈名護域〉 名護城跡／国道沿い名護七曲の面影／旧集落に残る祭りや朝市／屋部、稲嶺の集落／津嘉山酒造所 など</p> <p>〈恩納域〉 山田城跡と西海街跡・仲泊遺跡一帯／恩納城跡／集落の御嶽や豊年祭など集落行事 など</p> <p>〈宜野座・金武域〉 宜野座の京太郎 など</p>
<p>く ら し</p>	<p>〈やんばる3 村域〉 みかんや茶などの農芸団地／奥間リゾートや辺戸岬一帯／東村村民の森つつじ園／道の駅や直販所利用／ツールドおきなわ／八重山地域に次ぐ水田景観や丘陵間の農芸景観／イノーの広がりや出船入船の港湾景観 など</p> <p>〈本部半島域〉 みかん畑や電照キクなど農の景色／海洋博公園の賑わい／リゾートや海浜海岸園地の利用／花の名所や沿道修景／架橋（古宇利大橋など）／港の出船入船／渡久地の市場／沿道の茶房や工房／道の駅や直販所・共同売店の利用／トリムマラソン など</p> <p>〈名護域〉 羽地や呉我の農耕地／勝山シークワサーの里／国道やバイパスなどの道路景観／21 世紀の森公園海浜緑地／旧市街地ヒンプンガジュマルや十字路など旧市街地／名桜大学・沖縄高専などのキャンパス／名護市庁舎／ツールドおきなわや名護・やんばるツーデーマーチ等北部広域イベント／ブセナリゾート など</p> <p>〈恩納域〉 リゾートエリア（ムーンビーチなど）や国道沿道の賑わい／残されている集落域のまとまり／恩納漁港や博物館や道の駅などの拠点の利用 など</p> <p>〈宜野座・金武域〉 伊芸のガジマル など</p>

☆ 中心景： 圏域の本質を代表する景観資源

第1章 “美ら島沖縄”の風景（沖縄の景観特性）



与那覇岳（国頭村）



辺戸岬（国頭村）



比地大滝（国頭村）



カルスト（本部町）



億首川（金武町）



慶佐次川（東村）



伊芸のガジマル（金武町）



羽地内海（名護市）



万座毛（恩納村）



今帰仁城跡（今帰仁村）



喜如嘉集落（大宜味村）



津嘉山酒造所（名護市）



ウングミ（海神祭）（大宜味村）



古宇利大橋（今帰仁村）



プセナリゾート（名護市）



水田（名護市）



ムーンビーチ（恩納村）



漢那ダム（宜野座村）

(2) 本島中南部圏域 (17市町村)

<読谷・嘉手納域> 読谷村・嘉手納町	<うるま域> うるま市
<北谷・宜野湾域> 北谷町・宜野湾市	<コザ域> 沖縄市
<中城域> 北中城村・中城村・西原町	<浦添・那覇域> 浦添市・那覇市
<南城域> 南城市・与那原町	
<糸満・八重瀬域> 豊見城市・糸満市・南風原町・八重瀬町	

読谷村、うるま市以南の本島内市町村からなります。県都那覇をはじめ沖縄の市部が集積・連担した人口 100 万人余を擁する都市地域です。本区域には那覇空港や那覇港など県内外を結ぶ交通結節拠点が立地し、西海岸においては沖縄西海岸道路とともに都市型ウォーターフロントが連なっています。一方、首里城、玉陵、識名園、斎場御嶽、座喜味城跡、勝連城跡、中城城跡などの世界遺産群が集積するとともに、現在でも嘉手納基地や普天間飛行場、牧港補給地区などの大規模基地が存在しています。また、地区東海岸の中城湾を構成する区域は、石灰岩段丘と海岸低地、島々からなり、石灰岩段丘には世界遺産勝連城跡、中城城跡、斎場御嶽などの文化遺産が立地し優れた多くの眺望点を有しています。南海岸一帯は沖縄戦跡国定公園となっています。

主要資源

中心景 [☆]	<p>主要交通拠点（那覇空港、那覇港湾など）、主要道路（沖縄西海岸道路、国道 58 号、国道 330 号など）、世界遺産群等（浦添城跡一帯、首里城一帯、座喜味城跡一帯、勝連城跡一帯、中城城跡一帯、斎場御嶽一帯）、眺望（金武湾・中城湾のパノラマ、聖なる島々への眺望など） など</p>
自然	<p><読谷・嘉手納域> 長大な白砂と崎の織りなす海岸線景観／河口部の水辺景観（比謝川） など</p> <p><北谷・宜野湾域> 丘陵に広がる緑地／湧泉の水辺景観（森の川、カー）／サンセットビーチから望む水平線、海岸線 など</p> <p><浦添・那覇域> エリアを縁取る琉球石灰岩の丘陵・台地／慶良間の島々への眺望／河口部の水辺と長大な海岸線 など</p> <p><糸満・八重瀬域> 南側海岸線（喜屋武岬、具志頭海岸など）を縁取る貴重な断崖緑地とそこからの眺望／白砂のビーチ／長大な水辺景観 など</p> <p><うるま域> 北部と中南部の両方の植物相が見られる森林／金武湾・中城湾のパノラマ景観（湾・半島・島々・海中道路）／島々を結ぶ長大な海中道路と海岸線／水辺景観（天願川） など</p> <p><コザ域> 北部と中南部の両方の植物相が見られる森林／中城湾への眺望景観（湾・半島・島々など） など</p>

	<p>＜中城域＞ 本島の骨格となる台地断崖域の緑地／運玉森の眺望／台地断崖域から開ける景観（農地景観や中城湾への眺望景観）など</p> <p>＜南城域＞ 丘陵崖部を縁取るまとまった緑地／ハマジンチョウ群落／東洋一の景観を誇る鍾乳洞／白砂のビーチ／丘陵崖部からの島々やリーフの眺望 など</p>
<p>歴 伝 文 史 統 化</p>	<p>＜読谷・嘉手納域＞ 世界遺産座喜味グスク周辺景観／交易文化により発達した伝統工芸（読谷山花織、喜名焼など）／やちむん市などのにぎわい景観／民俗芸能（千原エイサーなど） など</p> <p>＜北谷・宜野湾域＞ 森の川／黄金宮／普天満宮／民俗芸能（大山の綱引き、獅子舞） など</p> <p>＜浦添・那覇域＞ 首里城関連世界遺産群（首里城跡、園比屋武御嶽、玉陵、識名園）／マチグァーなどの生活文化／壺屋やちむんの里／浦添グスク、浦添ようどれと周辺城下まち一帯／組踊などの王朝文化／首里まつりなどの伝統文化 など</p> <p>＜糸満・八重瀬域＞ 化石人骨・港川人／多くのグスク群（南山城跡、具志川グスク、具志頭グスク、多々名グスク、八重瀬グスクなど）／平和・戦跡遺産（ひめゆりの塔、健児の塔、避難壕など）／伝統文化（糸満・港川ハーレー、獅子舞、棒術、エイサー、綱引きなど）／その他（沖縄最大最古の富盛の石彫大獅子） など</p> <p>＜うるま域＞ 世界遺産勝連グスク周辺景観／仲原遺跡／民俗芸能（平敷屋エイサーなど） など</p> <p>＜コザ域＞ 越来グスク／伝統芸能、伝統文化（泡瀬の京太郎、エイサー、知花焼など） など</p> <p>＜中城域＞ 世界遺産中城グスク周辺景観／伝統的集落景観（大城、荻道など）／文化遺産（中村家住宅、渡口のテラ、安谷屋グスク、新垣グスク、歴史のみち、ペリーの旗立岩／内間御殿など）／伝統のまつり等（伊集の打花鼓、喜舎場の獅子舞・棒術、組踊「執心鐘入」など） など</p> <p>＜南城域＞ 東御廻いの聖地（ヤハラヅカサ・ミントングスク・斎場御嶽など）／生活文化資源（仲村渠樋川、垣花樋川など）／伝統文化（イザイホー、大綱引き、棒術、獅子舞、爬龍船、ウシデークなど） など</p>

くらし	<p> <読谷・嘉手納域> 海浜リゾート施設／広大な農地景観／まつり・イベント（読谷まつり、野國總管まつりなど） など </p> <p> <北谷・宜野湾域> コンベンション関連機能（コンベンションセンター、トロピカルビーチ、マリーナ、避難港）／沿道商業景観（国道 58 号沿いの商業集積、アメリカンビレッジ）／ビーチリゾート・公園（アラハ公園、サンセットビーチ、宮城海岸）／まつり・イベント（宜野湾車いすマラソン・カチャーシー大会・シーポート北谷カーニバル） など </p> <p> <浦添・那覇域> 港湾とウォーターフロント／コンクリートの街並／沖縄都市モノレール／新都心など開放地の街並／都市型リゾート施設／国立劇場おきなわ／那覇まつり（那覇大綱挽）、NAHA マラソンなどの国際イベント など </p> <p> <糸満・八重瀬域> 港とウォーターフロント（糸満・港川漁港、人工ビーチなど）／平和観光施設（南部戦跡国定公園、旧海軍司令部壕、陸軍病院跡、平和祈念公園など）／工芸品（ガラス細工、琉球絣、栗石加工品など）／NAHA マラソンなどのイベント など </p> <p> <うるま域> 港湾とウォーターフロント／各種文化施設（あやはし館・きむたかホールなど）／各種イベント（全島獅子舞フェスティバル・闘牛大会・エイサーまつりなど） など </p> <p> <コザ域> 戦後の国際色豊かな生活文化（ロック・民謡・ジャズなどのミュージック、和・洋・中・琉折衷の食文化、OFTブランドなどのファッション、中の町のナイトライフ、あしびなーなど）／まつり・イベント（沖縄全島エイサーまつり、沖縄国際カーニバル／沖縄市北部や東部地域の農地景観）／くすの木通り など </p> <p> <中城域> 文教施設（琉球大学、沖縄キリスト教短期大学）／漁港とウォーターフロントなど </p> <p> <南城域> 文化施設（シュガーホールなど）／観光・レジャー施設（佐敷マリーナ、あざまサンサンビーチなど）／各種まつり・イベント など </p>
-----	--

第1章 “美ら島沖縄”の風景（沖縄の景観特性）



具志頭海岸（八重瀬町）



喜屋武岬（糸満市）



佐敷高台からの眺望（南城市）



座喜味城跡（読谷村）



中城城跡（中城村）



勝連城跡（うるま市）



識名園（那覇市）



中村家住宅（中城村）



垣花樋川（南城市）



ピースフル・ラブロック・フェスティバル（沖縄市）



那覇ハーリー（那覇市）



浦添ようどれ（浦添市）



那覇大綱挽（那覇市）



闘牛大会（うるま市）



エイサーまつり（うるま市）



平和祈念公園（糸満市）



くすの木通り（沖縄市）



コンベンションセンター（宜野湾市）

(3) 本島周辺離島圏域（10町村）

<北部離島域> 伊是名村、伊平屋村、伊江村
 <久米・慶良間域> 久米島町・渡嘉敷村・座間味村・渡名喜村・粟国村
 <大東域> 北大東村・南大東村

本島周辺の島々で構成されます。エメラルドクリーンの美しいイノーの広がりや小さいながらもダイナミックな島々の地形、その中で生息する貴重な動植物などが特徴で県立自然公園などに指定されています。また、重要伝統的建造物群保存地区などの特徴ある集落景観や登録文化財などの文化遺産が見られるほか、漁業や農業、織物、陶芸、泡盛製造、多彩な伝統行事や民俗芸能など島々の生活文化が息づいています。

主要資源

中心景*	イノーの広がりや島々の地形、伝統的集落景観（渡名喜、伊是名、久米島、座間味など） など
自然	<北部離島域> 伊平屋島のクバ山・米崎海岸・クマヤ洞窟・念頭平松／伊是名島二見ガ浦海岸／伊江島の湧出（ワジー） など <久米・慶良間域> 久米島の宇江城岳・大岳・アール岳山地森林域／白瀬川、ミーフガー一帯の海岸植生／畳石、比屋定バンタなど／慶良間諸島の海中景観、海上島嶼景観／粟国島御嶽の植物群／渡名喜島の山地景観、慶良間・粟国・久米への眺望景観など <大東域> 両島の隆起環礁地形と岩礁植生／池沼と鍾乳洞／ダイトウビロウの群落 など
歴史文化	<北部離島域> 伊是名城跡一帯／田名ウンジャミ・神アサギ・我喜屋区大綱引き／銘苅殿内一帯の農村集落／屋蔵墓一帯 <久米・慶良間域> 久米島具志川城跡や宇江城跡など城跡一帯／上江洲家一帯・仲里間切蔵元跡一帯の集落農村域、比屋定一帯の防風松並木／宇根の大ソテツ、真謝のチュラ福木／渡名喜島集落（重要伝統的建造物群保存地区）をはじめとする島々の集落景観／渡名喜島の山頂に至る段畑景観 など <大東域> 北大東島のリン鉱石採掘遺跡／南大東島大東神社
くらし	<北部離島域> 伊平屋ムーンライトマラソン／リリーフィールド公園 など <久米・慶良間域> 久米島の丘陵や防風林に囲まれた農耕地、渡名喜島のもちきび畑／酒造工場や紬工房などの産業地／リゾート施設、まつり・イベント（久米島一周マラソン大会、座間味ヨットレースなど）、ホエール・ウォッチング、島々の集落行事、ビーチ（古座間味ビーチ、渡嘉志久ビーチなど）／阿嘉大橋 <大東域> サトウキビ畑などの農耕地／掘り込み港湾 など

第1章 “美ら島沖縄”の風景（沖縄の景観特性）



クマヤ洞窟（伊平屋村）



湧出(ワジー)（伊江村）



比屋定パンタ（久米島町）



畳石（久米島町）



海岸線（南大東村）



ヤヒジャ（粟国村）



伊是名城跡(伊是名村)



宇江城城跡（久米島町）



農地（南大東村）



渡名喜集落（渡名喜村）



集落内（粟国村）



リリーフィールド公園（伊江村）



ウンジャミ（伊平屋村）



大綱引き（伊平屋村）



古座間味ビーチ（座間味村）



堀り込み漁港（南大東村）



阿嘉島・阿嘉大橋（座間味村）



渡嘉志久ビーチ（渡嘉敷村）

(4) 宮古圏域 (2市村)

<宮古域> 宮古島市・多良間村

宮古島市を中心に、周辺の島々で構成される区域です。平坦な島が多く美しいイノーの広がりや砂浜、湾、入江などの特徴的な地形・景観を活かして海浜リゾートが立地しています。また、県立自然公園の豊かな自然と地下ダム活用によるサトウキビ畑等の農村風景の中で、環境共生の島としての取組も知られています。宮古島市の中心市街地には歴史的遺産も多く見られます。本区域では宮古島トライアスロンなどの国際的イベントから、多良間八月踊り、パーントゥ、クイチャーなどの伝統行事、民俗芸能まで、島々の生活文化が息づいています。

主要資源

中心景*	イノーの広がりや島々の地形、サトウキビ畑の農村風景、コースタルリゾート景観、多良間の抱護林 など
自然	<宮古域> 大野山林や野原山林／伊良部島牧山の森、多良間島の抱護林／多良間島や伊良部島や狩俣など各所の御嶽林／東平安名崎／来間島や水納島の岩礁植生海浜植生／島尻のマングローブ林／下地島の通り池、池間湿原ユニムイ、佐良浜、サニツ浜／八重干瀬から島尻のサンゴ礁海域 など
歴史文化	<宮古域> 漲水御嶽や仲宗根豊見親の墓など一帯／各所の御嶽や湧水井戸／池間・狩俣・島尻・大神一帯の民俗信仰や多良間島の八月祭り、各所の集落行事やまつり・イベント（宮古島トライアスロン、多良間八月踊り、パーントゥ、クイチャーなど）、佐和田浜や狩俣の魚垣 など
くらし	<宮古域> 地下ダムとファームポンド・散水施設、架橋（池間大橋、来間大橋 など）、風力発電／サトウキビ畑やタバコ畑の花、休閒地のヒマワリ畑、牧草地と牛の放牧など農芸景観／道路や街角など緑化と花の取り組み／トライアスロン大会／うえのドイツ文化村／ビーチ（砂山ビーチ、与那覇前浜など）

第1章 “美ら島沖縄”の風景（沖縄の景観特性）



東平安名崎（宮古島市）



下地島・通り池（宮古島市）



下地島・海岸（宮古島市）



与那覇前浜（宮古島市）



砂山ビーチ（宮古島市）



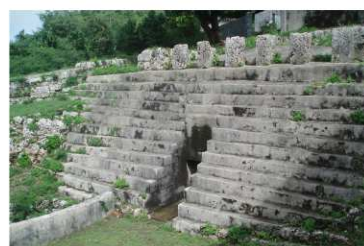
森林・農地（多良間村）



パントウ（宮古島市）



八月踊り（多良間村）



仲宗根豊見親の墓（宮古島市）



うえのドイツ文化村（宮古島市）



地下ダム（宮古島市）



公園から望む市街地（宮古島市）



池間大橋（宮古島市）



来間大橋（宮古島市）



フクギ並木（多良間村）

(5) 八重山圏域 (3市町)

〈石垣・竹富域〉 石垣市・竹富町 〈与那国域〉 与那国町

石垣市を空・海の交通拠点として周辺の島々で構成される区域です。西表石垣国立公園などのダイナミックな森林やラムサール条約に登録された湿地、雄大な放牧等の農村風景や県内最高峰の山々など自然の宝庫となっており、このような環境の中で別荘や海浜リゾート・都市型リゾートなどの施設が集積しつつあります。また、重要伝統的建造物群保存地区の集落景観や我が国最西端や最南端の国境の有人島の景観などが見られるほか、「歌と踊りの島」として、多彩な伝統芸能、まつり・イベント、伝統工芸など、島々の個性ある生活文化が息づいています。

主要資源

中心景*	於茂登山系、西表の山並、石西礁湖、変化に富んだ海岸線、島々への眺望、伝統的集落景観（竹富、波照間、白保、祖内など）など
自然	<p>〈石垣・竹富域〉 広大な於茂登山系／湾・半島・島々の眺望（川平湾など）／水辺景観（名蔵アンパル、浦内川、仲間川、マリウドの滝など）／変化に富んだ海岸線 など</p> <p>〈与那国域〉 日本最西端の眺望（台湾遠望、夕日など）／海岸線の奇岩や急階景観（ティンダバナ、サンニヌ台、立神岩、軍艦岩など）／砂浜（ナンタ浜、比川浜、ウブドゥイ浜など） など</p>
歴史文化	<p>〈石垣・竹富域〉 竹富島（重要伝統的建造物群保存地区）をはじめとする集落景観（波照間島、白保、川平など）／歌と踊りの生活文化（竹富島の種子取、西表島の節祭など）／権現堂／宮良殿内／与那国家住宅 など</p> <p>〈与那国域〉 伝説の舞台（女酋長サンアイ・イソバの居住地、トゥング田、クブラバリなど）／伝統行事・祭事（マチリ、シテ祭、古謡、棒踊り、村踊りなど）／祖内の伝統集落景観 など</p>
くらし	<p>〈石垣・竹富域〉 ダイビング／さとうきびの農地景観（石垣島、波照間島、小浜島など）／水田景観（石垣島、西表島など）、牧野景観（久宇良、黒島など）／まつり・イベント（とぅばら一ま大会・デンサー節大会、南の島の星まつりなど）／ビーチ（ニシ浜、星砂の浜など） など</p> <p>〈与那国域〉 生産景観（水稻、牧野など）／泡盛工場／伝統工芸館 など</p>

第1章 “美ら島沖縄”の風景（沖縄の景観特性）



川平湾（石垣市）



平久保崎灯台（石垣市）



於茂登岳からの眺望（石垣市）



西表島・マリウドの滝（竹富町）



西表島・仲間川（竹富町）



立神岩（与那国町）



与那国馬の放牧（与那国町）



黒島・牧場（竹富町）



由布島・水牛車（竹富町）



西表島・節祭（竹富町）



西表島・節祭（竹富町）



竹富島・種子取祭（竹富町）



宮良殿内（石垣市）



竹富島集落（竹富町）



小浜島・古民家（竹富町）



市街地周辺（石垣市）



西表島・星砂の浜（竹富町）



波照間島・ニシ浜（竹富町）